

チームラボのエンタープライズサポート活用事例について

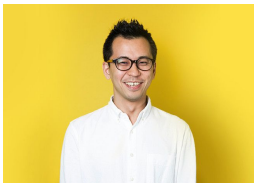
Speaker Name: 堺 大輔 / 川俣 直樹

Company Name: TeamLab Inc.

Agenda

- 登壇者紹介
- 登壇企業紹介
- AWSの取扱いについて
- エンタープライズサポート導入の背景/課題
- エンタープライズサポート導入後の効果について
- まとめ

堺 大輔 Sakai Daisuke



チームラボ
取締役

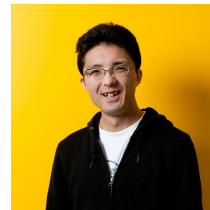
1978年、札幌市出身。東京大学工学部機械情報工学科、
東京大学大学院学際情報学府修了。

大学では、ヒューマノイドロボットのウェアラブル遠隔操作システムについて主に研究。チームラボ創業メンバー。取締役、ソリューション担当。創業以来、様々な企業の事業立案や、サービス構築を行う。

代表的なところでは、ガリバーインターナショナル、トヨタ、東急ハンズ「コレカモ」、ANA、良品計画、アダストリア、りそな銀行など業界問わず、多数プロジェクトに参画。

チームラボのソリューション系のプロジェクトを横断的に管轄し、特にプロジェクト立ち上げフェーズでは各プロジェクトに参画し、サービス構想策定に携わる。

川俣 直樹 Kawamata Naoki



チームラボ
パッケージチーム エンジニア

2006年チームラボ入社。
新規サービスの立ち上げを中心に、Webサービス構築案件に従事。

当社オンラインレコメンデーションサービスをawsへ展開。
オンプレ、EC2、ECSを経て約7年の運用実績を持つ。
※2020年現在

近年では主に新規プロジェクトのawsインフラの提案等に従事

好きなawsサービスはECS

Solutions Architect Associate 所有
SysOps Administrator Associate 所有
Developer Associate 所有



会社概要

社名	チームラボ株式会社	事業内容	マーケティング、ブランディング 分析/コンサルティング 先端インターネットテクノロジー開発 独自ソフトウェア開発
本社所在地	東京都千代田区神田小川町2-12 小川町進 興ビル 受付6階		インターネットサービス企画、開発、事業化 戦略、ITコンサルティング、SI事業 トータルデジタルメディアプロデュース デジタルアート
設立	2000年12月8日		
資本金	1000万円		
代表者	代表取締役社長 猪子 寿之		
役員構成	堺 大輔 田村 哲也 吉村 譲 森山 雅勝 渡部 憲一	関連会社	チームラボキッズ株式会社 チームラボセールス株式会社 チームラボアーキテクト株式会社 チームラボ上海
従業員	約650名		



MORI Building DIGITAL ART MUSEUM

teamLab★Borderless





teamLab★Planets
TOKYO



Sketch Aquarium

お絵かき水族館

ユーザビリティを考慮したUI/UXから、
業務・運用を考慮したバックエンドまで、各社様々なサイト・アプリをゼロから構築しています



MECHAKARI



りそな銀行



大規模検索求人サイト事例

マイナビバイト 株式会社 マイナビ

マイナビコミュニケーションズ様のバイト事業の立ち上げより、サイト全体構築、運用を担当。業界初の、成果報酬型の事業モデルもチームラボの提案により実現化し、現在、事業収益は着実に伸張。スマートフォンPCともにSEO効果が高く、トップページ以外から多数流入。

概要

ユーザPCサイト/求人企業サイト/Adminサイト
モバイルサイト/スマートフォンサイト

アクセス数: 1億PV以上
案件数: 3万件以上
応答速度: 2秒以内

ノウハウ

- 外部連携を複数行った経験から仕組みや運用フロー、想定されるリスクを把握しておりますので、スムーズな導入が可能です。
- 検索インターフェースにこだわっております。常に競合他社にない検索 UIを検討したノウハウがございます。
- フルリニューアル、データ移行、インフラ入れ替えなど、サイトの大規模化に沿って、改善点をまとめて管理していることから、事前のリスク予測と対策が可能です。





大規模検索ECサイト事例

マルイウェブチャネル 株式会社丸井

マルイ様が運営する日本有数の巨大パレノECサイト「マルイウェブチャネル」に、SKU270万点以上の商品をストレスなく探せる商品検索機能、人気商品ランキング計測・レコメンド機能などを提供。データ分析を日々行い、どのようなデザインが効果があるか、どのようなレコメンドロジックが効果があるかなどB試験を実施して改善継続。

ポイント

大量アクセスに対する負荷分散

セール期(1月1日)にはピークで分間45000アクセスがあります。このアクセスに対して、ノンストップでサービス維持できるようサーバを並列負荷分散アーキテクチャを構築・保守しております。

大量データを扱うアーキテクチャ

登録会員150万人以上、掲載商品数SKU270万点以上という大量データ、かつ大量のアクセスに対してレコメンドをリアルタイムで行うアーキテクチャを開発いたしました。

分析・施策のPDCA

サイト内にSP、PC合わせて数百以上のレコメンド枠を設けています。どのようなデザイン・ロジック・表示場所が効果があるのかを分析を行いながら、施策を弊社データサイエンティストが日々行っております

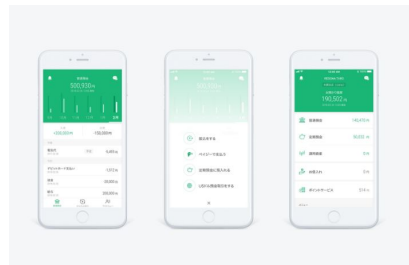


アプリ事例

りそなスマート口座アプリ

株式会社りそな銀行様

りそなグループの「りそなスマート口座」のスマホアプリの、企画・デザイン、UI/UX設計、開発、また、プロモーション戦略の立案、プロモーションサイトとプロモーションムービーの制作を担当しました。



”スマホがあなたの銀行に”をテーマに振込、口座残高や入出金明細確認などはもちろん、AIが自動で顧客の口座状況や銀行取引を分析し、無駄な出費や貯金についてアドバイスしたり、様々な金融商品を提案する機能や、アプリからワンタップで直接チャットや、メール、電話で、アプリの使い方から金融商品まで質問、アドバイスを受けられる機能など、銀行そのものが手のひらの上にあるような体験になるよう開発しました。

ボタンタップ時やローディングなど、アニメーションを活用することで、操作のユーザーへのフィードバックや読み込み中の体感時間を短くし、ユーザーの気持ち良い操作感を実現しました。





アプリ事例

ANAマイレージクラブ

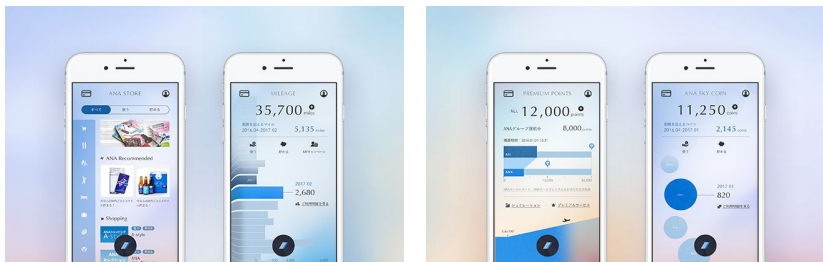
全日本空輸株式会社様

全日本空輸株式会社のメンバーサービスである「ANAマイレージクラブ」の専用アプリを、チームラボが開発しました。

会員ステイタス毎に異なるデザインが展開され、一目で積算マイルやANA SKY コインが確認できます。

また、ANA STOREでは、スマートフォンから便利にショッピングをお楽しみいただけます。

ANAマイレージクラブを身近に感じられる機能を取り入れ、提供されているサービスをわかりやすく、視覚的に表現したアプリです。





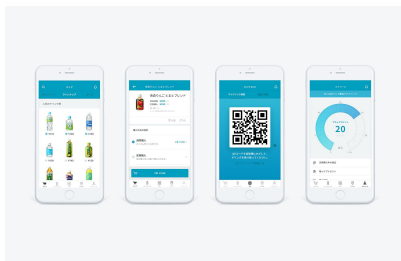


アプリ/在庫情報連携事例

acure pass / イノベーション自販機

株式会社JR東日本ウォータービジネス様

JR東日本ウォータービジネス社とアキュアのスマホ対応自販機「イノベーション自販機」のプロダクトデザインのプロデュース、自販機サイネージアプリケーション企画・開発・デザイン、及び、「イノベーション自販機」連動スマートフォンアプリ「acure pass(アキュアパス)」の企画・デザイン・開発、プロモーション用動画及びWebサイト、オペレーターの業務フロー改善、ビジネスプランニングなどを担当しました。

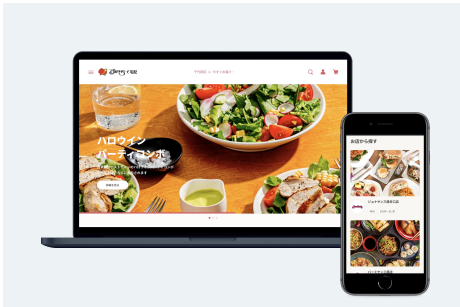


まとめ買い価格と定期購入価格の設定による、常連客を誘致する仕組みを導入。また自販機を利用したユーザーにポイントを付与する仕組みで、日常的な利用を促進することができます。インターネット経由で自販機の商品在庫状況をリアルタイムにしており、ユーザーは事前に商品ラインナップや売り切れを把握できるようになります。

アキュアパスで、できること



年間売上300億円のデリバリーサイト



1500万DLのお店で使うアプリ



すかいらーく デジタル戦略事例

株式会社すかいらーくホールディングス様

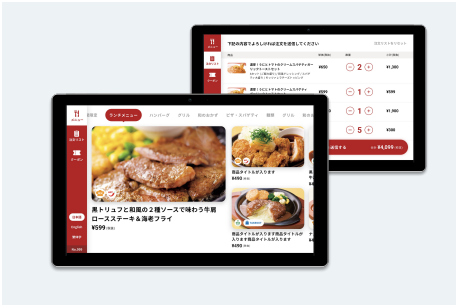
チームラボでは、すかいらーくホールディングス様のデジタル戦略全般を、実証実験の段階からご支援し、アジャイルとウォーターフォールを使い分けて、構築しています。

現在では、軒先で使うデリバリー用のサイトや、お店で使うスマホアプリ、デリバリーサイトを支える3000名の配達員のためのナビアプリ、店舗で利用するTTOタブレットアプリといった、ユーザーの接点となる、ほぼ全ての領域において一貫してご支援させていただいております。

3000名の配達員向けナビアプリ



店舗で利用するTTOタブレット用のアプリ



<ウォーターフォールで開発>

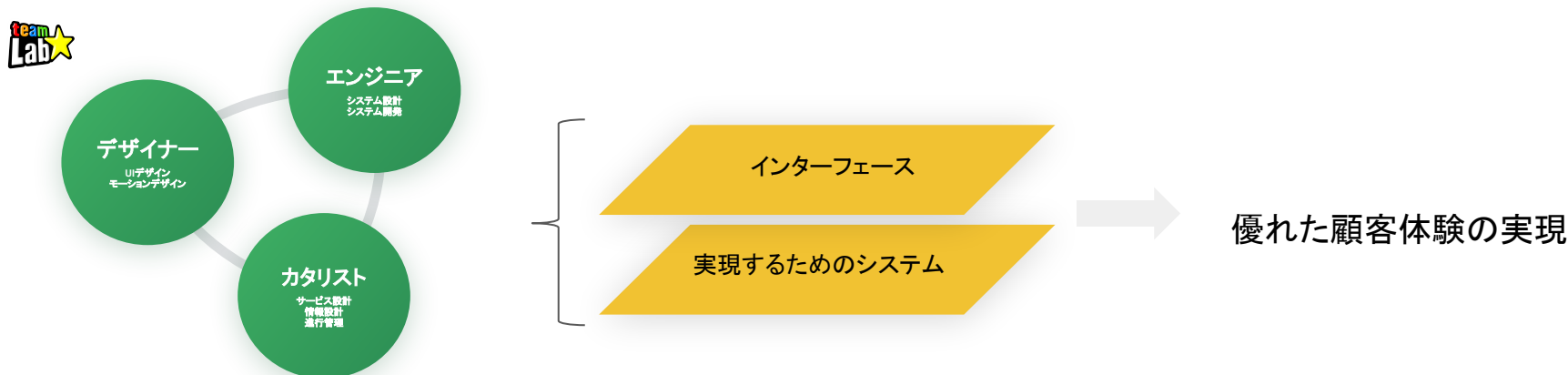
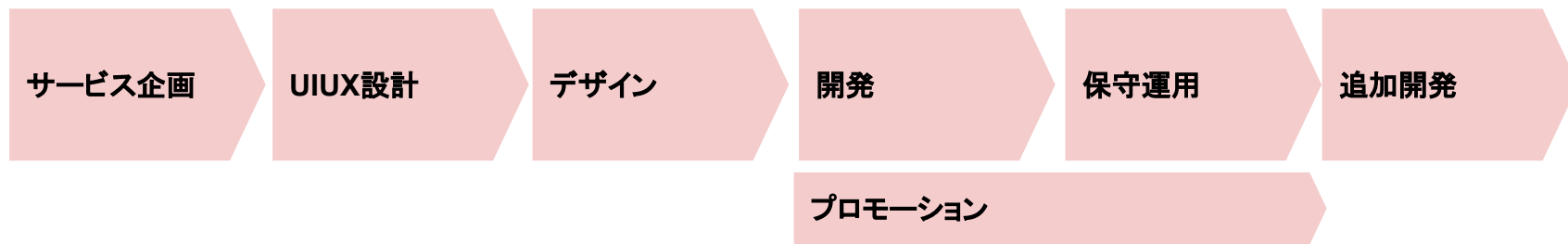
- ・ 年間売上300億円のデリバリーサイト
- ・ 1500万ダウンロードのお店で使うクーポンアプリ

<アジャイル的に実証実験から開発>

- ・ 3000名の配達員むけのアプリ
- ・ 店舗で利用するTTOタブレット用のアプリ

etc

サービス企画からUIUX設計、デザイン、開発、運用、プロモーションまで
社内でワンストップで取り組めるチーム体制。表層的な体験・見栄えの良さばかりを考えるのではなく
システムを理解し、インターフェースと合わせて検討することで優れた顧客体験を提供



AWSの取扱いについて

チームラボでは2011年のTokyoリージョン開設前よりAWSを利用しております。
高トラフィックなシステム、ECサイトのようなクリティカルなシステム、オンプレミスからの
システム移行等、多種多様なシステムでAWSを利用しております。



バスケットLIVE パ・リーグ.COM



[.st]



MECHAKARI

acure
アキュア

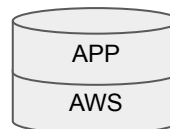


リソナ銀行



SHISEIDO

アプリケーション開発後も運用保守を弊社で担当しており アプリケーション保守とAWS保守を一貫して提供しております



エンタープライズサポート 導入の背景と課題

**TokyoRegion開設前から利用してることもあり
エンジニアのAWSに対する知識も豊富で
当初は特にサポートの意義は感じてなかった**

様々なお客様とお仕事をさせていただくことで
案件も多種多様に

EC
アプリ
自販機
業務システム
動画配信システム
チケットシステム
etc.

**さらにAWSが提供するサービスも
開設当時とは比較にならないほど多種多様に**

さらなるソリューション力の向上のため
各種案件に対してより最適な構成を検討できる
環境の必要性を感じることに

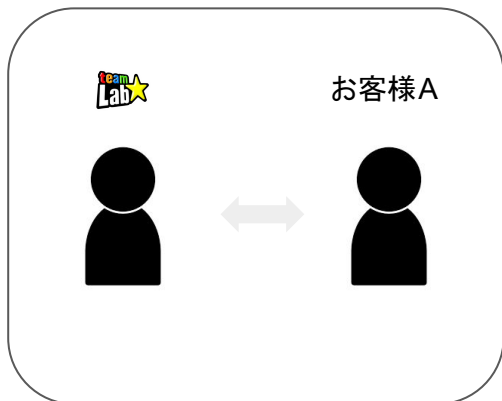
さらにサポートレベルも向上するということで

エンタープライズサポートを導入

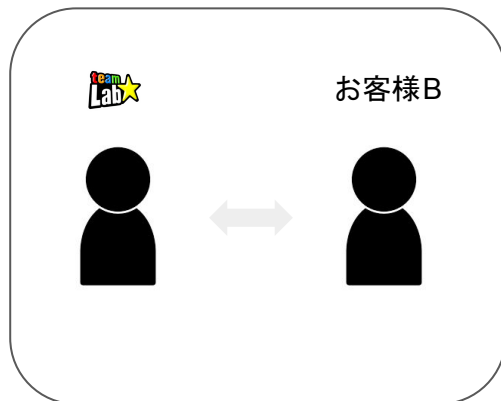
エンタープライズサポート導入後の効果

エンタープライズサポート導入前はそもそもAWSの保守レベルは案件単位で検討
 案件によっては予算の都合上サポートレベルが低い案件も

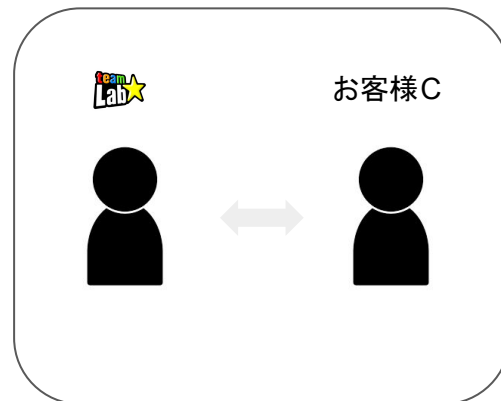
AWSサポートレベル
ビジネス



AWSサポートレベル
サポート無し



AWSサポートレベル
開発者



会社全体でエンタープライズサポートを契約することで すべてのお客様に均一して高品質なサポートを提供可能に

*現在、弊社アカウント経由でAWSをご契約いただければ、エンタープライズサポート相当の保守サービスを無償で提供

AWS



エンタープライズ
サポート契約



高品質なサポートを提供

お客様A



お客様B



お客様C



AWSサポートのラインナップ

- ・全AWSサービスが対象
- ・お問い合わせ回数は無制限
- ・日本語サポート

技術Q&A
 ✓ Web(メール)
 ✓ 平日 9-18 時
 ✓ 最短 12 時間

技術Q&A
 ✓ Web(メール)
 ✓ 電話・チャット
 ✓ 24/365 対応
 ✓ 最短 60 分

最優先対応
 テクニカルアカウントマネージャー
 技術Q&A
 ✓ Web(メール)
 ✓ 電話・チャット
 ✓ 24/365 対応
 ✓ 最短 15 分

料金Q&A

料金Q&A

料金Q&A

料金Q&A
(コンシェルジュ)

フォーラム

フォーラム

フォーラム

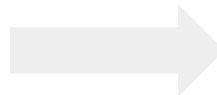
フォーラム

ベーシック

開発者

ビジネス

エンタープライズ



エンタープライズサポート導入後は問い合わせレビュー、
 利用状況レポート等の最適化推進から気軽に構成の相談や
 サービスについての質問ができる環境になり エンジニアとしてはめちゃくちゃ精神的に楽に！

* 現在はコロナの影響でリモート開催中です。

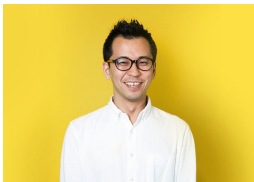
いつもこの掘りごたつで実施！



どんな感じで相談しているかという
たとえば



堺 大輔 Sakai Daisuke



チームラボ
取締役

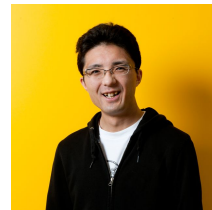
1978年、札幌市出身。東京大学工学部機械情報工学科、
東京大学大学院学際情報学府修了。

大学では、ヒューマノイドロボットのウェアラブル遠隔操作システムについて主に研究。チームラボ創業メンバー。取締役、ソリューション担当。創業以来、様々な企業の事業立案や、サービス構築を行う。

代表的なところでは、ガリバーインターナショナル、トヨタ、東急ハンズ「コレカモ」、ANA、良品計画、アダストリア、りそな銀行など業界問わず、多数プロジェクトに参画。

チームラボのソリューション系のプロジェクトを横断的に管轄し、特にプロジェクト立ち上げフェーズでは各プロジェクトに参画し、サービス構想策定に携わる。

川俣 直樹 Kawamata Naoki



チームラボ
パッケージチーム エンジニア

2006年チームラボ入社。
新規サービスの立ち上げを中心に、Webサービス構築案件に従事。

当社オンラインレコメンデーションサービスをawsへ展開。
オンプレ、EC2、ECSを経て約7年の運用実績を持つ。
※2020年現在

近年では主に新規プロジェクトのawsインフラの提案等に従事

好きなawsサービスはECS

Solutions Architect Associate 所有
SysOps Administrator Associate 所有
Developer Associate 所有

■ご相談案件背景

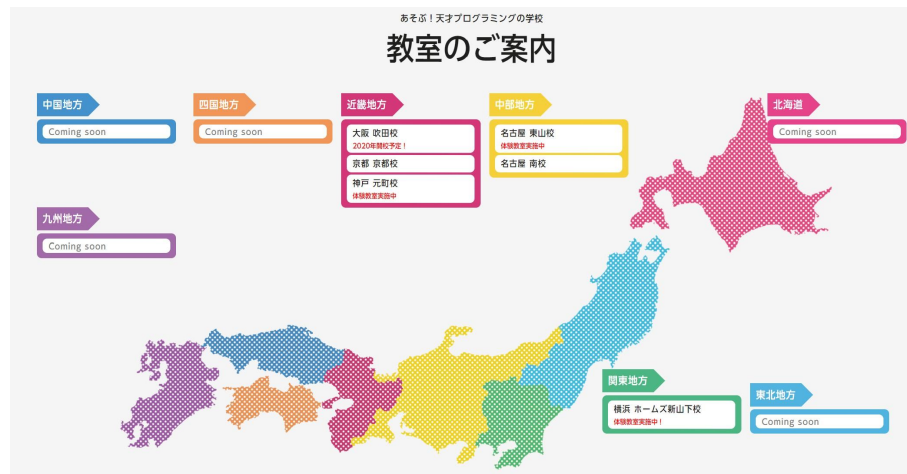
天才プログラミングという作品を教材としてプログラミング学校で提供

<https://playprogramming.school>

■相談内容

利用教室の増加に伴い ECS (Fargate) の構成を変更したいのですが、今想定しているやり方より良いやり方があれば教えていただきたいです。

利用教室が増加



■現状の構成と課題

各教室からのアクセスに関しては、サーバー 1台でのみ受けていて、各教室での授業が同時に開始されると、負荷数が増えて、限界がくる

■構成的に困っていること

WebSocketを使用したリアルタイム性を重視した Webアプリケーションを構築しており、その中で、Websocketのコネクションをサーバー側で保持してしまうので、冗長構成が取れない

■仕様技術

CloudFront, WAF, ALB, ECS(Fargate), RDS

○もう少し具体的な構成

- ・教室ごとに教室サービスを作成し、ALBのパスルーティングで各教室サービスに振り分け
- ・教室サービス内のタスクは 1つだけ
- ・教室判別サービスを別で起動しておき、リクエスト元 IPによって各教室サービスヘリダイレクトさせる
- ・教室サービスは授業開始時間に起動し、授業が終了したら削除する

○実現方法

- ・授業開始をトリガーに lambdaを起動しサービス作成(授業開始時間は DBなどでlambdaに共有?)
- ・lambdaでECSサービスの作成、ALBへのパスルーティングの登録を行う
- ・教室サービスが起動したことを教室判別サービスに共有(サービスの起動状況を DBなどに格納しておく?)
- ・授業終了をトリガーに lambdaを起動しサービス削除(授業終了時間は DBなどでlambdaに共有?)
- ・教室サービスが削除されたことを教室判別サービスに共有

○その他

- ・ECSのサービスの自動起動化は、Lambdaもしくは、ECSのバッチタスク時実行するのが、一番簡単
- パスルーティングに関しては、ALBのルールを使ってのパスルーティングが、一番案件にマッチしている
- ・AppMeshという方法もあったが、より複雑な構成になってしまう恐れがある
- ・Serveceディスカバリの方法は、WAFの使用が必須だったので、除外となった
- ・似ているものとして、投げ銭するライブチャットアプリ (イチナナライブとか)の各ユーザーが配信しているチャンネルを切り替えていくイメージ

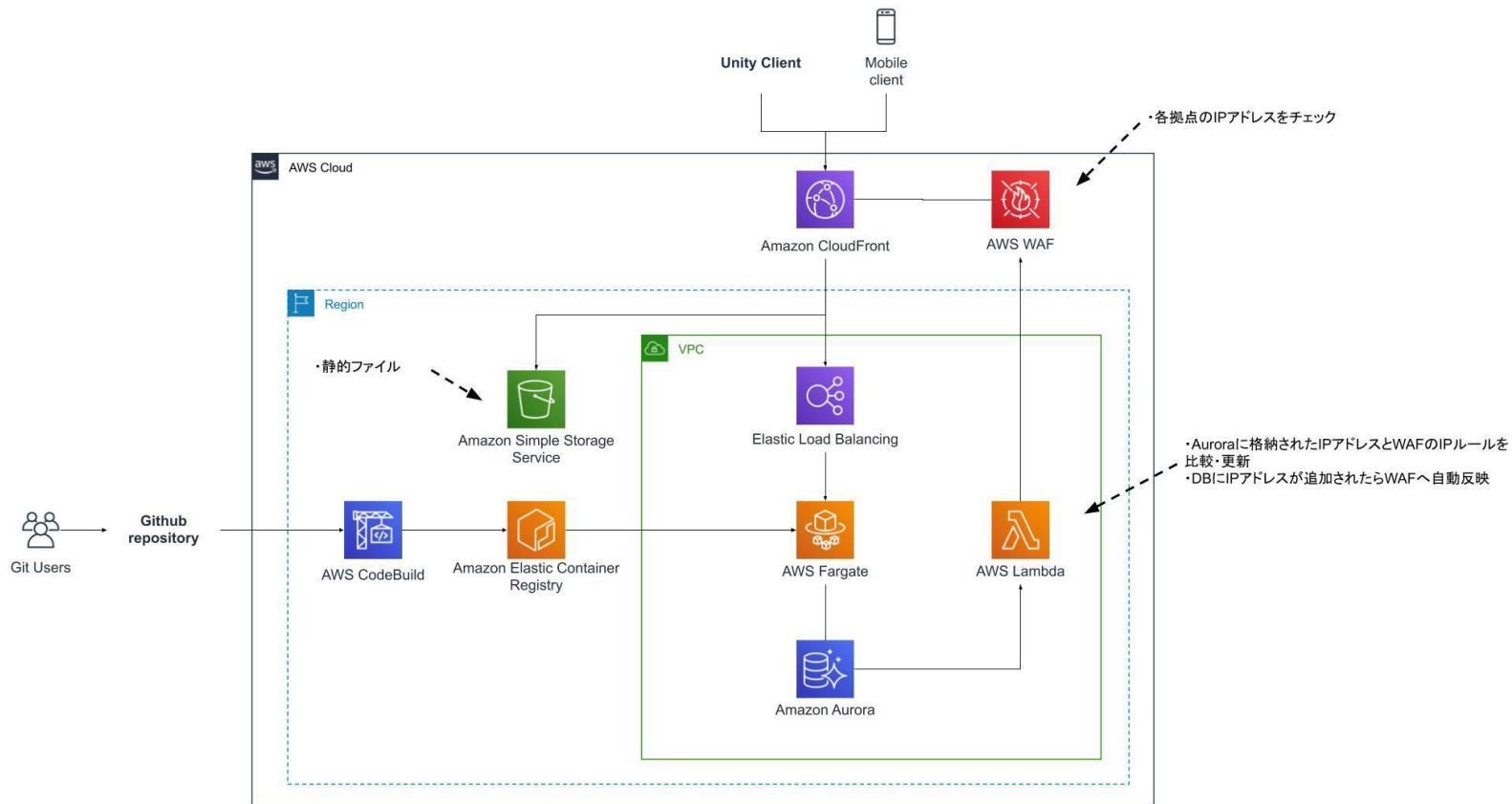
■結論

既存のWebアプリケーションを、全教室で使い回す方法ではなく、各教室専有で使える構成に切り替えたほうが良さそう

■実現方法

ECSのサービスを各教室毎に授業開始前に作成して、授業終了後に削除する方法で可能

最終的な構成図



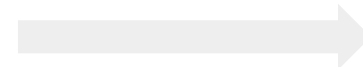
時間枠を抑えて相談できるので
ざくばらんな相談や込み入った相談もしやすく
議論も深まるので、エンジニア的には
構成検討時にかなり精神的に楽に！

さらにSlack上でもAWSについてざっくばらんにご相談
リアルタイムに回答をいただけるのでコミュニケーションもより活発に

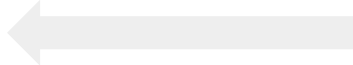
構成やサポート、新サービスの情報など
AWSに関する情報ならなんでもやりとり

#aws様と話せるチャンネル ☆

👤 123 | ☆ 1 | <https://team-lab.slack.com>



AWS



以前質問した内容に対する新しい情報を展開いただいたり



内山 陽介 9:46 AM

何度かお話に出てきた、RDS ProxyがGAしました！

コネクションプールを使えない様な環境(Lambda等)から、RDSが利用しやすくなります。

<https://aws.amazon.com/jp/about-aws/whats-new/2020/06/amazon-rds-proxy-generally-available/>

ただし、下記のブログでもある様に何点か注意点があるのでご確認ください。

特に読み込みに対しては引き続き reader endpoint を直接使う必要があるという点にご注意ください。

<https://aws.amazon.com/jp/blogs/compute/using-amazon-rds-proxy-with-aws-lambda/>

The following are a few things that you should be aware of:

- Currently, RDS Proxy is available for the MySQL and PostgreSQL engine family. This engine family includes RDS for MySQL 5.6 and 5.7, PostgreSQL 10.11 and 11.5.
- In an Aurora cluster, all of the connections in the connection pool are handled by the Aurora primary instance. To perform load balancing for read-intensive workloads, you still use the reader endpoint directly for the Aurora cluster.
- Your RDS Proxy must be in the same VPC as the database. Although the database can be publicly accessible, the proxy can't be.
- Proxies don't support compressed mode. For example, they don't support the compression used by the --compress or -C options of the mysql command.

(edited)



Amazon Web Services

Using Amazon RDS Proxy with AWS Lambda | Amazon Web Services

Update – June 30, 2020: Amazon RDS Proxy support for MySQL and PostgreSQL is now generally available. Update – April 8, 2020: We have announced Postgres compatibility with the Amazon RDS Proxy. Version 10.11 and 11.5 are supported in the preview. The AWS Serverless platform allows you to build applications that automatically scale in response to demand. [...]

Dec 4th, 2019 (322 kB) ▾

問い合わせしてよい内容かどうかもとりあえず Slackで聞ける



1:19 PM

@別役公司_aws cc @kawamata

お世話になっております。

スラックでの質問となってしまう恐縮なのですが、以下なにか良い方法などがあればご教示いただきたいです。

もし、サポートに問い合わせる内容であればその旨ご教示いただければと思います。

- ・ 海外のIP (アメリカ、韓国、シンガポールなど) からのアクセスを検証したい

クラウドフロントの「CloudFront-Viewer-Countryヘッダ」を用いてアプリケーションでコンテンツの出し分けを検討しており、この検証に用いたいと考えております。リージョン変更してEC2立てて検証しようと思ったのですが、そのリージョンのIPになるわけではなかった(ソウルで試したのですが、アメリカのIPでした)ため、何か方法などがあればご教示いただきたいです。

(検索したらこんな記事も)

<https://qiita.com/tashua314/items/8224cebe64d8e4a45faa>

※難しい場合は、クラウドフロント経由せず、直接「CloudFront-Viewer-Countryヘッダ」を付与してアプリケーションリクエストなども検討しております。(edited)

Qiita

AWSで日本アドレスがほしいとき - Qiita

こんな人におすすめ どうしてもAWS上で日本アドレスが欲しい方 EC2インスタンスから、楽天のGOLDサーバにFTP接続したい方 任意の店舗のみからの接続の場合、店舗登録者が楽天に申請すれば許可してもらえます サ... (40 kB) ▾

Qiita



別役公司_aws 2 months ago

ご連絡ありがとうございます、まずは、このスレッドに投げて頂いて大丈夫です！&可能でしたら、他のAWSメンバーもメンション頂けると、連携&反応しやすくなります！🙏



2 months ago

ありがとうございます。川俣からもらった方法でも可能かと思っているのですが、もしAWS様でもベストプラクティスなどありましたらご教示いただければと思います。



別役公司_aws 2 months ago

承知です、追ってご連絡いたしますね！



Daisuke Ogata 緒方 大介 2 months ago

遅くなりまして申し訳ありません。払い出されるアドレスの国を制御する方法はなく、VPNを使っただけのが良いかと思いません。



2 months ago

承知致しました。ご回答ありがとうございます！

また毎月の定例では各案件に対してのセキュリティの警告や構成エラーをまとめて棚卸 上位エンジニアが内容を確認し、必要に応じて各案件の構成などを確認 結果的に予防保守にもつながっております

エラー・警告が報告された項目

checkname	error_04	warning_04	error_05	warning_05	error_06	warning_06
AWS CloudTrail Logging						
Amazon RDS Security Group Access Risk						
Amazon Route 53 MX Resource Record Sets and Sender Policy Framework						
Amazon S3 Bucket Permissions						
CloudFront SSL Certificate on the Origin Server						
ELB Listener Security						
ELB Security Groups						
IAM Access Key Rotation						
IAM Password Policy						
IAM Use						
MFA on Root Account						
Security Groups - Specific Ports Unrestricted						
Security Groups - Unrestricted Access						

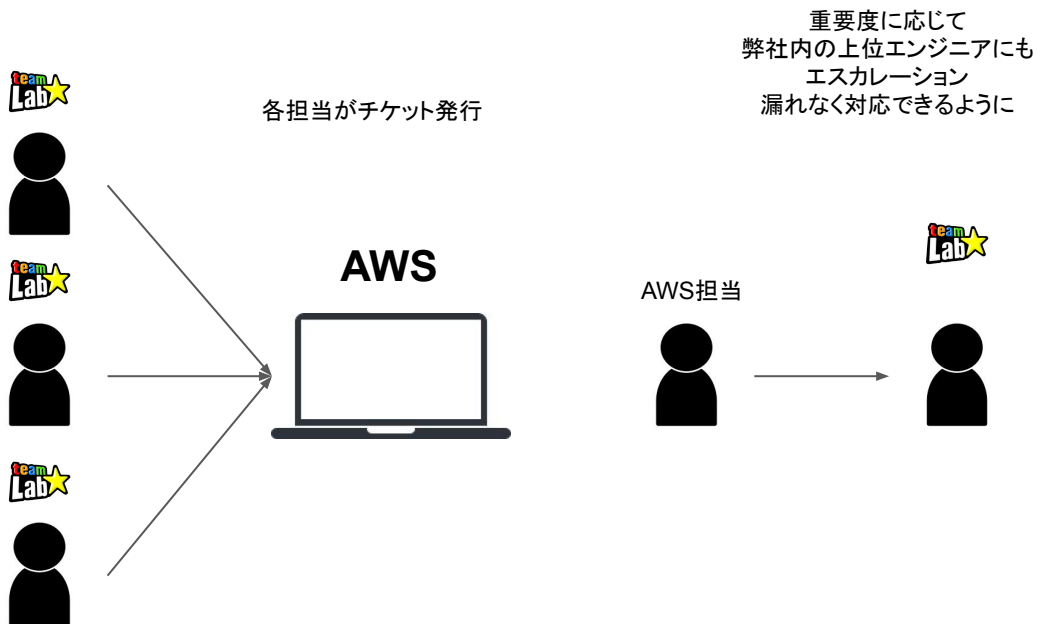
具体的なリソースは別ファイル ta-security-20200624.xlsx をご参照ください

コンテンツ配信の最適化 (CloudFront)

アラート基準	<ul style="list-style-type: none"> 警告: このチェックから 30 日前までの間に GET リクエストによってバケットからユーザーに転送されたデータの量は、バケットに保存されているデータの平均量の少なくとも 25 倍です エラー: このチェックから 30 日前までの間に GET リクエストによってバケットからユーザーに転送されたデータの量は少なくとも 10 TB で、バケットに保存されているデータの平均量の少なくとも 25 倍です
推奨アクション	CloudFront の使用をご検討ください

4 月警告数	5 月警告数	5 月警告数

AWSメンバーも含めた保守体制でより強固で迅速な保守対応が可能に
各案件で発行したチケットの重要度に応じて社内の上位エンジニアに共有
漏れなく迅速に対応できるような
(おかげさまでまだミッションクリティカルな利用はないけど)



最新の技術ももちろんだが各相談事項についてはログとして残して社内で共有 定期的にナレッジとして共有することで会社全体のエンジニア力の向上に

<p>ご相談内容 (できるだけ詳しく、既存構成なども)</p>	<p>議事録</p>
<p>オンデマンドの動画配信についてご相談したいです。 S3にmp4などの動画ファイルをアップロードし、ElasticTranceCoder/MedeaConverterでHLS形式にエンコードしてCloudFront経由でストリーミング配信をする予定です。 また、有料会員限定のコンテンツとして配信を行いたいため、動画へのアクセスの制限をかけたいです。 <ul style="list-style-type: none"> • ElasticTranceCoderとMedeaConverterどちらを使うかはどんなことを判断基準にすればよいでしょうか？ • CloudFrontを経由した場合の試算はどのように行えばよいでしょうか？ • ElasticTranceCoder/MedeaConverterでのコンバート完了通知はどのように受け取ることができるでしょうか？ • CloudFrontでアクセスの制限をかける場合は署名つきCookieが一般的でしょうか？ </p>	
<p>相談① CloudFrontのタイムアウト(504)について この案件では同期的にスクレイピングしてデータを返却するAPIを用意しているのですが、アクセス先Webサイトの負荷状況によっては処理に想定以上の時間がかかってしまう懸念があります。 そこでタイムアウトが万が一発生した場合、Json形式でレスポンスを返却したいと考えているのですが、何か推奨される方法等はあるのでしょうか？ 現状はlambda@edgeを使用して、ステータスが504の場合だけレスポンスボディの情報を書き換えるよう実装してます。</p> <p>相談② NATGatewayについて 現状Fargateを使用してサーバ構築しているのですが、スクレイピング先のWebサーバのログイン口(アプリ専用)にIP制限がかかっている影響で、NATGatewayを使用してIPを固定するようにしています。 しかしまだ開発段階にも関わらず想定外の通信料が発生しており(おそらく通常のJsonが返却されるAPIとは違い、スクレイピングでページの情報を丸々読み込んでいるため)、構成を変えるべきが悩んでおります。 そこで以下についてご相談したいです。 <ul style="list-style-type: none"> • NATGatewayの通信量の内訳みたいなのを調べる方法はあるか • 通信量を抑えたい場合、どのような構成に変えるのがベストか(EC2にする？NATインスタンスを使用する？) ちなみにECRやSQS間の通信に関しては、PrivateLinkを使用するようにしています。 </p>	<pre> exports.handler = async (event) => { const response = event.Records[0].cf.response; if (response.status == 504) { response.headers['content-type'] = [{ "key": "Content-Type", "value": "application/json", }]; response.body = JSON.stringify({ code : 504, link : "", message : 'タイムアウトが発生しました' }) } return response; }; </pre>



導入後の効果まとめ

- 1) すべてのお客様に安定したサポート体制が提供可能に
- 2) 社内にAWSメンバーがいてくれることでざっくばらんに相談可能。案件の進捗もよりスムーズにかつベストプラクティスでの提案が可能に
- 3) 会社全体の案件を網羅的に把握でき、予防保守も実現
- 4) AWSメンバーも含めた保守体制でより強固で迅速な保守対応が可能に
- 5) 結果的に会社全体としてAWSのナレッジもたまり、技術力の底上げに

お問い合わせ等は
以下メールアドレスもしくはURLからお願いいたします。

メール：lab-contact@team-lab.com

URL：<https://www.team-lab.com/contact>

Thank you !